

「私のやりたいこと」

夕希菜 似顔絵店 代表 きただ 夕希菜^{ゆきな}



夕希菜さんが描いた
ご自身の似顔絵

幼少期から絵を描くことが好きで、漠然と『絵を描く仕事に将来はつきたい』と、思い描いていました。しかし、スポーツにも興味がでてきて、大学は体育大学へ進学しました。絵を描く事はずっと好きでしたが、歳を重ねるごとに、絵をどうやって仕事に繋げていくのか、本当に私の絵がお金に繋がるのか、、、あまりにも未知な世界で、そのままスポーツ関係の仕事につきました。しかし、一度きりの人生、やりたい事に一度もチャレンジせずにいるのか、、、???

と、自問自答する日々が続き、たった一年でやっと就職出来た仕事を辞めることにしました。辞めたはいいものの、絵で収入を得るほどの実力がなく、まずは路上で似顔絵を描いて、経験値を増やすことにしました。もちろん、似顔絵を描いても、希望に添える作品が出来ず、お金を頂けない事や、罵声を浴びせられたこともありました。悔しい気持ちや、怖い気持ちが入り混じり、泣きながら帰る日が続きました。そこで、『もう辞めてしまいたい』と、何度も思いましたが、一度きりの人生、最後までやり尽くしてやろう!!!と、自分を奮い立たせ、最終的に大阪の某テーマパークの専属似顔絵師になることができました。似顔絵を何十年とされている、大先輩方と同じ土俵で似顔絵を描ける幸せを噛みしめながら、毎日似顔絵を描いていました。

対面で似顔絵を描く以外にも、ギフトショップと提携して、ネット販売にも挑戦しました。新しい事をはじめるとには、多額の初期投資や慣れない作業が多くあり、大変な時期もありましたが、何かに挑戦し続けることは、人生により厚みを持たせ、心を豊かにしてくれるな、、、と、実感しました。結婚、出産を経て、片道2時間かけて出勤することが厳しくなり、5年前より完全にネット販売に移行しました。0から1を生み出す仕事なので、常に技術向上の為に365日、休みなく絵を描き続けること今年で12年になりました。今だに絵を描くことに飽きたり、嫌になる事はなく、毎日楽しい気持ちで仕事に取り組んでいます。ふと、正社員の仕事を辞めた時の事を思い出しますが、あの時自分の気持ちに嘘をつかず、チャレンジしてよかったな、、、と、自分を褒めたくくなります。娘は今4才ですが、世間的に認知されていない仕事や、固定されたお給料がもらえない不安定な仕事でも、やりたい仕事に就いて欲しいと思っっています。その為には、人より努力しなければならぬし、気持ちの面やお金で辛い思いをするかもしれない。しかし、それ以上に得られる事は多くある事を、私の仕事を間近で見ると感じて欲しいです。後何年、生きられるかわかりませんが、棺桶に入る日まで、大好きな絵で、誰かに笑顔をお届けしていきたいです。